

未来へつながる確かな安心をお届けします

# 肥後保険企画

2024年5月141号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 AIG熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <https://www.higohoken.co.jp>



©2010熊本県くまモン

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

さまざまな活動をメインに楽しみや癒しなどをアップしています。ぜひ、フォローをお願いします！



HIGOHOKENKIKAKU  
インスタ QR コード

いつもありがとうございます

「こんにちは！渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。」

「管理職は部下に対して常に確かな指示を出しながら指導育成しなければなりません。しかし、多くの管理職は「パワハラ」と言われるのが怖くて部下への注意や指導が難しいと思っています。」

「一方で働き方改革で残業などが減り、職場のホワイト化が進んでいます。」

「ただ、Z世代の社員の中には仕事の負荷が減り、上司からの注意や指導もあまりなく、「自分のこれからのキャリアを考えると、この会社においても成長できない」。いわゆる「ゆるブラック企業」に不安を感じて退職する人も少なくありません。」

「やはり部下に対しては時に厳しい指導も必要です。その際は、怒りの感情をそのままぶつける「怒る」ではなく、部下に対する要求を穏やかに伝える「叱る」が大事です。」

「このことが会社の生産性向上と社員の離職防止につながり、ひいては働きがいの提供へと繋がるのではないかと考えています。」

「弊社ではインスタグラムをやっています。」

「顔の見える代理店」として、社内のさまざまな活動をメインに楽しみや癒しなどをアップしています。ぜひ、フォローをお願いします！



手書きなので  
枚数に限りはありますが、  
絵はがきをお届けしています。

とってもキュートな夢色のアマダイ。徳川家康は駿河湾沿岸で獲れるアマダイのウロコが富士山の形していると縁起物としてもてはやしたそうです。

大漁旗に躍動感溢れる美しい姿が描かれていることも多く、紅白、黄、ブルーと色とりどりのアマダイの味もまた最高級でその名の通り甘いそうです。

顔よし、味よし、縁起良しのアマダイで、皆様の元へたくさんの福や幸や富が大漁豊漁となりますように(祝)

## 生命保険お役立ち一口情報

生命保険は、明治維新に福沢諭吉が海外の「近代的保険制度」を紹介したことがきっかけと言われています。

生命保険は、生命保険の加入者から、毎月保険料という名目で集めたお金で、病気やケガなどで亡くなった人の遺族に対して保険金を支払う仕組みです。

もし、一家の大黒柱が亡くなった場合、残された遺族は路頭に迷うかもしれません。

なので、多くの人からお金を集め、万一不慮の事態が起これば、みんなでその遺族を支えましょうという「相互扶助の精神」が、生命保険制度の根幹となっています。

このようなことから生命保険に契約することを、相互扶助制度に参加するという意味で、生命保険へ加入すると言うのです。





## 日常の過失、賠償責任をカバー 自転車事故や商品破損など



他人にけがを負わせる、他人のものを壊すといったリスクは日常生活に常に潜んでいます。

個人賠償責任保険は、日常生活で誤って他人にけがを負わせたり、他人のものを壊したりしたときに損害賠償金や弁護士費用を補償してもらえる保険です。

自転車を運転中に歩行者へ大けがを負わせたり、買い物中に陳列してあったお皿を誤って割った、飼犬が散歩中に通行人に噛みついてケガを負わせたといった場合など幅広く補償します。

多くの損害保険会社は、自動車保険や火災保険などの特約として販売しています。保険料は安いもので月150円ほどです。



個人賠償責任保険は、単体で入ることが少なく、自分が入っているのか、どの保険に付帯しているのかを把握していない人が多いようです。自動車保険や火災保険、ともに特約を付けていけば無駄になる可能性があります。

補償額は1億円ほど確保しておくのが望ましいとされていますが、無制限のものもあります。

加入後は生活環境の変化に注意が必要です。たとえば、同居する親の保険に入っていた場合、子が実家を離れると適用外となります。自動車保険に付けていた場合は車を手放すと特約もなくなります。不安な場合は一度自身の加入状況を確認してみたいかがですか。

## 肥後保険登山倶楽部



こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。今回は私の生まれ故郷の久留米の高良山にまつわるお話です。

地元では高良山と言えば出雲大社と並ぶ高良大社が山腹に鎮座しています。

そして、文豪、夏目漱石は明治30年に親友菅虎雄を訪ね、高良山中腹の高良大社に行き、耳納連山を越え、彼方まで広がる筑後平野に咲く一面の菜の花を眼下に見下ろし、発心(草野町・発心公園)まで行って桜を見物しました。

この時の山越えの体験は、のちに名作「草枕」の中にも生かされたと言われています。漱石の歩いた山道、現在の自然歩道「耳納縦走コース」と「発心城コース」の約14kmを「漱石の道」と命名し、十句の内五句を、展望のきく場所に、市内在住の気鋭の彫刻家に依頼して句碑を建立されています。



高良山入り口の大鳥居

## 健康経営やってます



「女性特有の健康課題への向き合い方」をテーマに、第2回女性健康推進会を開催しました。

ライフステージの変化や女性特有の健康問題のせいでキャリアを諦めたくない!健康な状態でずっと働きたい!そんな思いで女性従業員3人が意見交換しました。結婚・妊娠・出産・女性特有の病気・更年期障害など、様々な不安があります。

弊社では《治療と仕事の両立支援がでる保険》に加入しているため経済的損失を補える安心感があり、また、どんな状況でも理解を得られる職場環境は何よりもありがたいことです。まずは女性同士が理解し合い、何でも気軽に遠慮なく言える雰囲気が出て、とても大事な柱ができたような気がしました。健康経営優良法人2024ブライト500企業として、今まで以上に進化を続けていきます。



女性3人での意見交換

漫オブームが過ぎ去った20年後の2001年、漫オプロジェクトを命じられます。担当は著者一人だけ。

漫オブームの真つ盛りの1981年。吉本興業に入社した著者は横山やすし・西川きよしのマネージャーでした。

### 乱読コーナー

M-1 はじめました



のちのM-1グランプリは、島田紳助のアイデアにより優勝賞金は1000万円。賞金が出るのは優勝者だけにして漫オのガチンコ勝負を実現し、現在まで続いている競技的な仕組みを確立しました。

新たな需要創出のストーリーでもある本書には、ビジネスの重要な示唆が詰まっています。